

日本共産党10区 木村けんじ

返送先：北海道反原発連合 FAX 011(351)2378

第46回衆議院総選挙 立候補予定者の皆様へ (1/2)

1、今後の日本の原子力政策について、ご自身の考えに最も近いものをお選びください。

 直ちに全ての原発を廃炉にする。

- ・安全の確認された原発のみ稼働させ、10～20年以内に原発ゼロを目指す。
- ・原発の依存度は下げるが、将来的な原発ゼロには反対。
- ・原発の推進をはかる。
- ・どれもでない。

(備考欄 ※書かれた内容をそのまま公開させていただきます)

原発をコントロールする技術は未完成で、地震が多発する日本での危険性は特に大きい。福島第一原発の過酷事故はすでに取り返しがつかないものと認識する必要がある。さらに、原発のコストは他のエネルギーよりきわめて高いし、自然再生エネルギーの急速な開発にこそ力を注ぐべきと考える。

2、北海道電力 泊原子力発電所について、ご自身の考えに最も近いものをお選びください。

 直ちに廃炉にする。

- ・道内の電力使用状況に合わせ、安全確認を行いながら再稼働させる。
(年以内に廃炉 / 特定の廃炉期日は設けない) ※いずれかを○でお選びください。
- ・道内の冬の安定した電力供給のため、今すぐ再稼働すべき。
- ・どれもでない。

(備考欄 ※書かれた内容をそのまま公開させていただきます)

泊原発がなくても電気の供給はまかなえる。北海道の自然再生可能エネルギーの可能性はきわめて高い。

3、電源開発による青森県 大間原発の建設再開について、ご自身の考えに最も近いものをお選びください。

 直ちに建設を断念すべき。

- ・道南各自治体および北海道への説明をしっかりと行い、慎重に建設の是非を議論すべき。
- ・建設再開を支持する。
- ・どれもでない。

(備考欄 ※書かれた内容をそのまま公開させていただきます)

政府方針の30年代ゼロの方針にさえ反しており、30～40圏内の道民にはいっさい説明もないく、市町村長や漁協などもこぞって反対の意思表示している。

返送先: 北海道反原発連合 FAX 011(351)2378

第46回衆議院総選挙 立候補予定者の皆様へ (2/2)

4、幌延町の深地層研究センターについて。高レベル放射性廃棄物の最終処分場の有力候補とされていますが、幌延には稚内から続く活断層もありその危険性が指摘されています。この件についてご自身の考えに最も近いものをお選びください。

断固として認められない。

- ・慎重に安全性の確認を行い、道や自治体と議論の上、受け入れの是非を決めるべき。
- ・幌延町の経済発展にも繋がるので、安全性の確認の上で受け入れるべき。
- ・どれでもない。

(備考欄 ※書かれた内容をそのまま公開させていただきます)

核のゴミもち込みには断固反対だが、文献調査などもするべきではないと思います。現地施設では地下水が噴出して苦勞している実態もある。

5 (1)、道庁前反原発抗議行動について。私たち北海道反原発連合では、毎週金曜夜に道庁北門前にて反原発抗議行動を行っております。約20回続いていますが、この抗議行動をご存知ですか？また、私たちの行動は原発問題にフォーカスしていますが、市民一人一人が日本の社会の問題に意思表示をすべく行動していることについて、ご意見等ございましたら備考欄にご記入願います。

知っている。

- ・知らなかった。

(備考欄 ※書かれた内容をそのまま公開させていただきます)

官邸前行動や全国に広がっている行動は、政治的立場や思想・信条の違いにかかわらず世論と運動にとって役割がきわめて大きく、主権者の直接の意思表示として新しい形態の運動として評価しています。こんごも、ともに頑張りましょう。

5 (2)、私たちの道庁前抗議行動に参加したいと思いますか？

参加したことがある (官邸前) / (道庁前) / その他地域にて)

- ・機会があれば参加したい
- ・考えていない
- ・参加したくない。

お疲れさまでした。ご協力に感謝します。